

令和6（2024）年12月17日

独立行政法人日本学術振興会

ノーベル賞受賞者が市民と対話する公開シンポジウム

「ノーベル・プライズ・ダイアログ東京 2025」**The Future of Life ～先端技術とわたしたちのこれから～
参加登録受付開始**

独立行政法人日本学術振興会（理事長 杉野 剛）は、ノーベル・プライズ・アウトリーチ AB（ノーベル財団広報部門）との共催により、「ノーベル・プライズ・ダイアログ東京 2025」を開催します。

ノーベル・プライズ・ダイアログは、世界各国からノーベル賞受賞者を含む著名な研究者や有識者が一堂に会し、社会にとって重要な問題を語り合う、参加費無料の公開シンポジウムです。広く一般の方に、科学技術・学術への理解を深めてもらうことを目的として行われ、日本での開催は6回目となります。

今回は「The Future of Life ～先端技術とわたしたちのこれから～」をテーマに、私たちを取り巻く世界の様相への理解を深めた上で、科学技術が生命の未来をどのように変えていくかを考えます。

●開催概要

日時：令和7（2025）年3月9日（日）10:00～16:00（予定）

場所：パシフィコ横浜 会議センター

主催：独立行政法人 日本学術振興会（JSPS）

ノーベル・プライズ・アウトリーチAB

特設ウェブサイト：

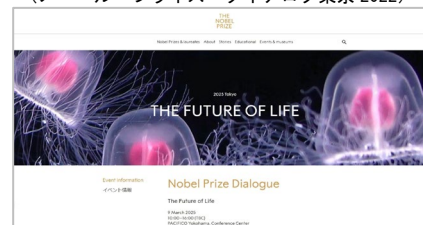
<https://www.nobelprize.org/future-of-life-jp>

参加登録：令和6（2024）年12月18日（水）から

上記ウェブサイトにて受付開始。



パネルディスカッション
（ノーベル・プライズ・ダイアログ東京 2022）



ノーベル・プライズ・ダイアログ東京 2025 特設ウェブサイト

●登壇予定のノーベル賞受賞者（6名）

- ・ベルナルト・フェリンハ 2016年ノーベル化学賞受賞
- ・アンドリュウ・ファイアー 2006年ノーベル生理学・医学賞受賞
- ・ウィリアム・D・フィリップス 1997年ノーベル物理学賞受賞
- ・スバンテ・ペーボ 2022年ノーベル生理学・医学賞受賞
- ・アダ・ヨナット 2009年ノーベル化学賞受賞
- ・吉野 彰 2019年ノーベル化学賞受賞

＜開催概要＞

ノーベル・プライズ・ダイアログ東京は、学術・科学技術への社会の方々の関心を高め、学術の振興に寄与するため、国内外のノーベル賞受賞者を含む著名な研究者・有識者を招いて行う、公開の国際シンポジウムです。

ノーベル・プライズ・アウトリーチ AB が平成 24（2012）年から毎年、ノーベル賞授賞式前日の 12 月 9 日にスウェーデンにて実施している公開シンポジウム「ノーベル・ウィーク・ダイアログ」を、日本学術振興会とノーベル・プライズ・アウトリーチ AB の共催により開催するもので、平成 27（2015）年 3 月にスウェーデン国外としては初めて、日本において開催しました。日本での開催は 6 回目となります。

1. 会議の名称

英文名：Nobel Prize Dialogue Tokyo 2025

和文名：ノーベル・プライズ・ダイアログ東京 2025

2. テーマ

英文：The Future of Life

和文：生命の未来 ～先端技術とわたしたちのこれから～

3. 開催日時

令和 7（2025）年 3 月 9 日（日）10 時～16 時（予定）

4. 開催場所・形式

パシフィコ横浜会議センター（神奈川県横浜市西区みなとみらい 1-1-1）

* 対面とオンラインを組み合わせたハイブリッド方式

5. 主催

独立行政法人日本学術振興会（JSPS）

ノーベル・プライズ・アウトリーチ AB（ノーベル財団広報部門）

6. 後援

文部科学省、外務省、横浜市、スウェーデン大使館

7. プログラム案

基調講演、テーマ別分科会、パネルディスカッション

8. 講演者等

ノーベル賞受賞者（6 名程度）を含む著名な研究者・有識者 20 名程度。

9. 言語

英語（日英同時翻訳付き）、手話通訳あり（日本語のみ）

10. 参加者数

1,000 名程度

11. 参加費

無料

12. 申し込み方法

特設ウェブサイト（<https://www.nobelprize.org/future-of-life-jp>）にて、
令和6（2024）年12月18日（水）より参加登録受付開始。

< プログラム（予定） >

10:00	開会	
10:15	未来 ノーベル賞受賞者が語る未来予想図	
10:40	生命 ・生命の起源－私たちはどのようにして、ここまで来たのだろうか？ ・人間とは何か？	
11:20	挑戦 ・多様性とインクルージョンの推進 ・持続可能な未来 ・私たちが今、直面する課題	
12:15 頃	昼休憩	
13:30	分科会 1 ・AI がもたらすインパクト ・量子コンピューティングへの期待	分科会 2 ・未来のゲノミクスが導くところ ・持続可能な課題解決に向けて
15:20	未来に向けて ・理想の未来	
15:45 頃	ノーベル賞受賞者による総括パネルディスカッション	
16:00	閉会	

※プログラムの内容は順次更新されます。また予告なく変更になる可能性があります。

＜主な登壇予定者（敬称略、姓のアルファベット順）＞

●浅川 智恵子

IBM Research, IBM Fellow、日本科学未来館 館長

●有村 俊秀

早稲田大学政治経済学術院教授、環境・経済研究所 所長

●ジョセフ・R・エッカー

ソーク生物学的研究所教授・遺伝学国際評議会議長、ハワード・ヒューズ
医学研究所研究員

●江間 有沙

東京大学東京カレッジ准教授、理化学研究所革新知能統合研究センター
客員研究員

●ベルナルト・フェリンハ

フローニンゲン大学分子科学教授
(2016年ノーベル化学賞受賞)

●アンドリュー・ファイアー

スタンフォード大学医学部病理学、遺伝学教授
(2006年ノーベル生理学・医学賞受賞)

●古澤 明

東京大学大学院工学研究科教授、理化学研究所量子コンピュータ研究セ
ンター副センター長

●波多野 睦子

東京科学大学理事・副学長、東京科学大学工学院教授

●石黒 浩

大阪大学大学院基礎工学研究科教授、ATR石黒浩特別研究所客員所長

●川合 真紀

大学共同利用機関法人自然科学研究機構 機構長、科学技術振興機構研究開発戦略センター センター長

●馬奈木 俊介

九州大学主幹教授、都市研究センター長、ユヌス&椎木 ソーシャル・ビジネス研究センター長

●松尾 豊

東京大学大学院工学系研究科技術経営戦略学専攻／人工物工学研究センター教授

●ウィリアム・D・フィリップス

米国立標準技術研究所所属物理学者、メリーランド大学カレッジパーク校物理学特別教授
(1997年ノーベル物理学賞受賞)

●スバンテ・ペーボ

マックス・プランク進化人類学研究所 所長、沖縄科学技術大学院大学教授 (アジャнкт)
(2022年ノーベル生理学・医学賞受賞)

●アダム・スミス

ノーベル・プライズ・アウトリーチ AB チーフ・サイエンティフィック・オフィサー

●竹山 春子

早稲田大学理工学術院教授

●山極 寿一

総合地球環境学研究所 所長、前京都大学総長

● アダ・ヨナット

ワイツマン科学研究所教授
(2009 年ノーベル化学賞受賞)

● 吉野 彰

旭化成株式会社名誉フェロー
(2019 年ノーベル化学賞受賞)

● ジュリー・ジーラス

ストックホルム、カロリンスカ研究所臨床統合生理学教授、コペンハーゲン大学教授ノボルディスク財団基礎代謝研究センター エグゼクティブ・ディレクター

※登壇予定者は、予告なく変更する可能性があります。

※登壇予定者の情報は、特設ウェブサイトにも掲載しています。また、今後決定する方についても、順次ウェブサイト上で情報を追加する予定です。

＜ノーベル・プライズ・ダイアログ東京 2025 運営委員会委員名簿＞

委員長 水本 哲弥	独立行政法人日本学術振興会 理事
浅川 智恵子	日本科学未来館 館長
塩見 美喜子	東京大学 大学院理学系研究科 教授
武内 和彦	公益財団法人地球環境戦略研究機関 (IGES) 理事長
竹山 春子	早稲田大学 理工学術院 教授
蓼沼 宏一	一橋大学 経済学研究科 名誉教授 特任教授

長谷川 真理子 独立行政法人日本芸術文化振興会 理事長
総合研究大学院大学 名誉教授

波多野 睦子 東京科学大学 理事・副学長
工学院 教授

アドバ イザー 若宮 淳志 京都大学 化学研究所 教授
理事補

(敬称略、五十音順)

<協賛企業 (アルファベット順) >

ノーベル・インターナショナル・パートナー :

ABB、EQT、Scania、Stegra

特別スポンサー :

株式会社島津製作所

<過去の開催実績>

(第1回) ノーベル・プライズ・ダイアログ東京 2015

日 時 : 平成 27 (2015) 年 3 月 1 日 (日)

場 所 : 東京国際フォーラム

テーマ : The Genetic Revolution and Its Future Impact

生命科学が拓く未来

講演者数 : 25 名 (うち、ノーベル賞受賞者 7 名)

(第2回) ノーベル・プライズ・ダイアログ東京 2017

日 時 : 平成 29 (2017) 年 2 月 26 日 (日)

場 所 : 東京国際フォーラム

テーマ : The Future of Intelligence

知の未来～人類の知が切り拓く人工知能と未来社会～

講演者数 : 36 名 (うち、ノーベル賞受賞者 5 名)

(第3回) ノーベル・プライズ・ダイアログ東京 2018

日 時 : 平成 30 (2018) 年 3 月 11 日 (日)

場 所：パシフィコ横浜 会議センター

テーマ：The Future of Food

持続可能な食の未来へ

講演者数：30 名（うち、ノーベル賞受賞者 5 名）

（第 4 回）ノーベル・プライズ・ダイアログ東京 2019

日 時：平成 31（2019）年 3 月 17 日（日）

場 所：パシフィコ横浜 会議センター

テーマ：The Age to Come

科学が拓く明るい長寿社会

講演者数：19 名（うち、ノーベル賞受賞者 5 名）

（第 5 回）ノーベル・プライズ・ダイアログ東京 2022

日 時：令和 4（2022）年 10 月 23 日（日）

場 所：パシフィコ横浜 会議センター

テーマ：Water Matters

水から考える持続可能な未来

講演者数：23 名（うち、ノーベル賞受賞者 7 名）

（お問い合わせ）

独立行政法人日本学術振興会 国際事業部 研究協力第一課

（担当者名）課長 瀬川 真木子

電 話：03-3263-1697（直通）

E-mail：nobelprizedialogue@jsps.go.jp

（注）メールを送る際は「*」を「@」に置き換えてください。